

発達障害児を持つ保護者のための勉強会

子どもの発達を育む会 いっぽ
〒611-0011 宇治市五ヶ庄広岡谷 2-667

助成事業の概要

保護者、子どもに関わる大人が発達障害の知識を深め発達障害児への対応を学ぶために専門家（小児科医・臨床心理士・障害者支援センター指導員）による勉強会の開催。

- ・2012年7月10日 京都市発達障害者支援センター 久賀谷洋 先生

「TEACCHって？」

- ・2012年10月16日 花園大学臨床心理学科 花の木医療センター小児科医

小谷裕美 先生

「発達障害における2次障害とその対応について」

- ・2012年4月24日・6月26日・9月25日・11月27日・1月29日・3月5日

臨床心理士 馬見塚珠生 先生

「ペアレントトレーニング」の内容としては心理検査 WISK の検査結果の見方や毎回授業のテーマごとに出されるホームワークの実行とその報告会。その他に臨床心理士がファシリテーターとして行うピアカウンセリング。

今期のテーマとしては発達障害児との関わりを学ぶという観点から、自閉症の人の支援プログラム「TEACCH」を理念から直接指導プログラム（構造化・ワークシステム等）、の方法まで様々な実例を見せていただき勉強しました。

受講者に思春期にかかる子どもの保護者が多いことから「二次障害」への予防や対処方法の方法まで様々な実例を見せていただき勉強しました。

受講者に思春期にかかる子どもの保護者が多いことから「二次障害」への予防や対処方法（投薬等）について勉強しました。

臨床心理士による「ペアレントトレーニング」「ピアカウンセリング」では保護者が発達障害児を客観的に見つめ問題行動を分析し子供たちが暮らしやすくするための考え方を数回にわたり学びました。またその中で毎年、子どもたちが受ける発達検査である「WISK」の評価方法を詳しく教えていただきました。

事業の成果

京都南部地域の保護者が発達障害の知識を得るためには他地域まで出向く必要があったが、本会の活動により身近な所で負担の少ない形で勉強会を提供することが出来た。

我が子の発達障害についての相談はスクールカウンセラー、医師と話をすることになるが家庭生活での子どもの困り感や保護者自身の心理状態まで相談することはできなかった。

しかし本会の勉強会に参加していただいたことで発達障害の専門家と直接話をする、ペアレントトレーニングにより子どもの問題行動の原因と対処を学び、家庭生活上で親子ともに穏やかに過ごせる具体的な方法を学んでいただけた。

孤独に悩んでいた保護者が、同じような悩みを持つ保護者との出会いの場となり保護者の仲間作りの手伝いも出来た。

勉強会のテーマ、講師、会場ともに参加者からの評価はよく

- ・書物ではわかりづらかったことを理解できた
- ・講師と直接質疑応答があり理解が深まった
- ・経験豊富な専門家の話をきくことができた
- ・子供への接し方の具体的な方法を知ることができた
- ・テーマを理解するには時間が短いので再度勉強会をしてほしい

などの意見をいただきました。

今回の反省点としては参加者が定員に満たず、広報の方法をあらためて考えるべきだと痛感した。会員が保護者ということもあり平日の午前中しか時間が取れなかったため仕事を持つ保護者の方に来ていただくことができなかつたので考慮したい。

次年度の勉強会については参加いただいた保護者の方々からリクエストをいただいたので前向きに検討したい。

■ 成果の広報、公表

今回の助成事業の広報については本会のブログと市内各所（保健所・宇治市保健推進課・宇治福祉会館・生涯学習センター・支援級親の会・NPO 障害児支援団体等）にチラシを配布しました。

また、事業を終えての成果等は本会のブログに掲載いたしました。

■ 今後の展開

- ・本会の活動の目的、意義、保護者のニーズを再確認する。
- ・今は保護者主体の会ではあるが、子供交流会を通して自閉症児達が仲間を作り自分達で活動できるように安心、安全な場を提供していく。
- ・保護者は発達障害への知識を（我が子への理

解）深め仲間を作り、子どもたちはソーシャルスキルを学び仲間、居場所を作れるように会の長期運営を目指したい

- ・ペアレントトレーニングや勉強会は、今期の勉強の成果を確認しながらより高度な内容を目指していきたい。参加者からいただいたリクエストに応えることができるよう努力する。
- ・地域の中ではまだまだ困っている保護者がおられると思うので、本会が少しでも助けとなるよう活動をしていきたいと思います。